

# 美祢市まち・ひと・しごと 創生総合戦略



平成 27 年 10 月

平成 28 年 11 月 10 日一部変更

平成 29 年 12 月 22 日一部変更

平成 30 年 3 月 23 日一部変更



交流拠点都市  
**美祢市**  
MINE CITY

## 目 次

1. 総合戦略の概要 -----	1
1-1. 総合戦略の策定趣旨 -----	1
1-2. 総合戦略の対象期間 -----	1
1-3. 総合戦略の基本的考え方 -----	1
2. 総合戦略の基本目標 -----	2
2-1. 基本的考え方 -----	2
2-2. 基本目標 -----	2
3. 総合戦略の取組内容 -----	3
3-1. 施策体系 -----	4
3-2. 重要戦略 -----	5
3-3. 具体的施策 -----	13
4. 総合戦略の実施に向けて ----- エラー! ブックマークが定義されていません。	
4-1. 進行管理と検証の体制 ----- エラー! ブックマークが定義されていません。	
4-2. PDCA サイクルによる見直し ----- エラー! ブックマークが定義されていません。	
4-3. 施策の実現に向けた手法の検討 --- エラー! ブックマークが定義されていません。	

# 1. 総合戦略の概要

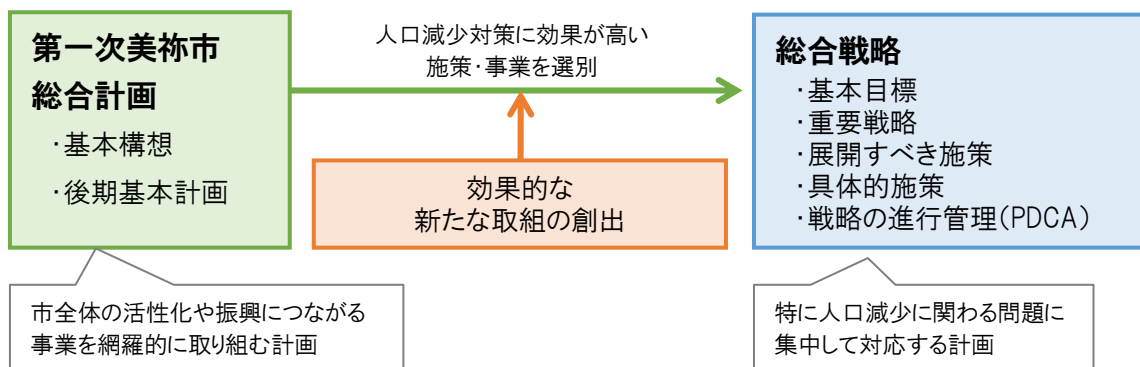
## 1-1. 総合戦略の策定趣旨

### (1) 趣旨

美祢市人口ビジョン(以下「人口ビジョン」という。)に示すように、本市では、社会減、自然減が続き、人口減少が深刻化しています。こうした、本市が抱える人口減少問題に対応するため、「第一次美祢市総合計画後期基本計画(以下、「後期基本計画」という。)」に掲げる政策・施策を承継し、かつ、人口減少対策に効果・実行性のある取組を戦略的に進める計画として「美祢市まち・ひと・しごと創生総合戦略(以下「総合戦略」という。)」を策定します。

### (2) 総合戦略の位置づけ

人口ビジョンで明らかとなった人口減少の要因を踏まえ、総合戦略は、後期基本計画から人口減少対策に効果が高い施策・事業を選別するとともに、効果的な新たな取組を創出し、人口減少に関わる問題に集中して対応する計画です。



## 1-2. 総合戦略の対象期間

総合戦略は平成 27 年度から平成 31 年度までの5年間とします。

## 1-3. 総合戦略の基本的考え方

人口ビジョンで設定する“人口減少対策の方向性”を踏まえて、合計特殊出生率の向上と、転出者を抑え、転入者を促し、人口ビジョンで示した「平成 72 年の目標人口を確保する」ために、実施すべき施策・取組を位置づけます。

- ✓ 人口ビジョンの将来展望を実現するために人口増が期待できる効果の高い施策・取組を選別し、重点的に実施する。
- ✓ 施策・取組の位置づけに際しては、施策対象(ターゲット)を絞込み、効果の見込みを明らかにするなど、戦略性をもった取組として実施する。
- ✓ 総合戦略に位置づける施策・取組は、計画的な実施と進行管理を行うことを基本として、市の財政等の見込みとも整合を取りながら、効果の高い現実的な取組として実施する。

## 2. 総合戦略の基本目標

総合戦略を進めるにあたっての基本的考え方を掲げ、人口ビジョンの“人口減少対策の方向性”を踏まえ、4つの基本目標とそれぞれの数値目標を設定します。

### 2-1. 基本的考え方

#### 市民・事業者・行政が共に考え、共に生きる

総合戦略は、本市が主体的に進めていくこととなりますが、市だけでは、人口減少を抑制することはできません。市民の皆さんの日常生活の営みから「しごと」が生まれ、「ひと」が育ち、「まち」がつくられており、市民の皆さんとの協力・協働によって、本市が成り立っています。

そのため、今後、本市がより一層発展していくためには、市民・事業者・行政が共に考え、共に生きていくとする動きが非常に大切となります。

この考え方のもと、総合戦略を実現させていきます。

### 2-2. 基本目標

#### 基本目標1:美祢市の資源を活用した「雇用をつくる」

本市が有している人的資源、観光資源、自然資源等を最大限活用して雇用をつくり、若者や求職者が本市で定住して就業できる環境を整えます。

##### ■展開すべき施策

- 1-1 共生がつなぐ仕事づくり
- 1-2 観光立市を牽引する産業・雇用の創出
- 1-3 農林資源の高付加価値化による雇用の創出

目標値	指標	現状値	目標値(H31)
	完全失業率	4.68%(H22)	3.40%

#### 基本目標2:惹きつける魅力を活かした美祢市への「ひとの流れづくり」

本市の魅力を全国に発信し、知名度を高めながら、住みたいと思わせる受け皿を整え、本市へのひとの流れをつくります。

##### ■展開すべき施策

- 2-1 美祢市の魅力が伝わるプロモーション活動
- 2-2 住みたいと思わせる、おもてなしの提供
- 2-3 シルバー世代に選ばれる受け皿づくり

目標値	指標	現状値	目標値(H31)
	美祢市の認知度	11.6点(H26)	25.0点
	観光交流人口	136万人(H25)	250万人

※認知度:各市町村についてどの程度知っているかの割合

### 基本目標3:美祿市で結婚・出産・子育ての希望がかなう環境づくりと「次世代の育成」

結婚・出産・子育てに対する一貫した支援・サポート体制を整えるとともに、郷土愛を育む取組を実施し、本市を愛する次世代の育成を行います。

#### ■展開すべき施策

- 3-1 結婚へつながる、きっかけづくり
- 3-2 出産と子育てをサポートできる地域づくり
- 3-3 ジオパーク活動を通して育む郷土愛

目標値	指標	現状値	目標値(H31)
	合計特殊出生率		1.36

### 基本目標4:美祿市にずっと住みたくなる「まちの基盤づくり」

本市の特長である、防災に対する安全・安心な環境をより盤石にし、都市機能、医療・介護の充実や大学との連携を深め、住みやすいまちの基盤をつくります。

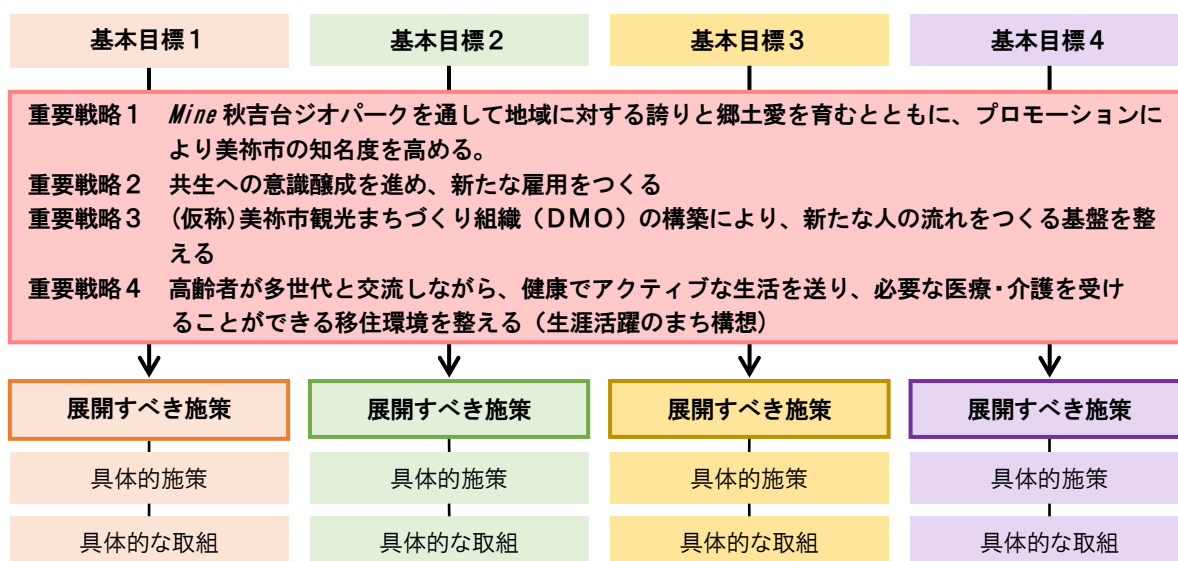
#### ■展開すべき施策

- 4-1 トップクラスの安全・安心なまちづくり
- 4-2 住み続けられるネットワークづくり

目標値	指標	現状値	目標値(H31)
	美祿市が住みよいと感じる人の割合		58.8%

## 3. 総合戦略の取組内容

総合戦略では、人口ビジョンで示した将来展望の達成、基本目標の実現に向け、「重要戦略」と「展開すべき施策」の大きく2つの項目で構成し、両者が連携し合って進めていきます。



D M O : [Destination Marketing/Management Organization] 地域全体の観光マネジメントとマーケティングを一体的に担う、司令塔となる組織を指す。

### 3-1. 施策体系

基本目標	重要戦略	展開すべき施策	具体的施策
<b>基本目標1</b> 美祿市の資源を活用した「雇用をつくる」	<b>重要戦略1</b> Mine秋吉台シンオパークを通して地域に対する誇りと郷土愛を育むとともに、プロモーションにより美祿市の知名度を高める <b>重要戦略2</b> 共生への意識醸成を進め、新たな雇用をつくる <b>重要戦略3</b> (仮称)美祿市観光まちづくり組織(DMO)の構築により、新たな人の流れをつくる基盤を整える <b>重要戦略4</b> 高齢者が多世代と交流しながら、健康でアクティブな生活を送り、必要な医療・介護を受けることができる移住環境を整える(生涯活躍のまち構想)	1-1 共生がつなぐ仕事づくり	1-1-1 共生への意識醸成 1-1-2 起業・事業所誘致の推進 1-1-3 地元企業の活性化・人材育成への支援
		1-2 観光立市を牽引する産業・雇用の創出	1-2-1 秋吉台を核とした感動できる観光地づくり 1-2-2 グローバル観光戦略の推進 1-2-3 観光産業の展開による地域経済の活性化
		1-3 農林資源の高付加価値化による雇用の創出	1-3-1 地域ブランドの育成と六次産業化の推進 1-3-2 農林業の担い手の育成
<b>基本目標2</b> 惹きつける魅力を活かした美祿市への「ひとの流れづくり」		2-1 美祿市の魅力が伝わるプロモーション活動	2-1-1 地域PR・プロモーションの推進 2-1-2 国際交流の推進
		2-2 住みたいと思わせる、おもてなしの提供	2-2-1 美祿ブランドの確立と活用 2-2-2 移住推進体制の構築と定住支援
		2-3 シルバー世代に選ばれる受け皿づくり	2-3-1 美祿市への定住支援・移住環境の整備 2-3-2 介護・医療従事者の確保
<b>基本目標3</b> 美祿市で結婚・出産・子育ての希望がかなう環境づくりと「次世代の育成」		3-1 結婚へつながる、きっかけづくり	3-1-1 出会いの機会の創出
		3-2 出産と子育てをサポートできる地域づくり	3-2-1 子育て世代の負担軽減 3-2-2 子育てが楽しい環境づくり
		3-3 ジオパーク活動を通して育む郷土愛	3-3-1 郷土に誇りが持てる教育活動
<b>基本目標4</b> 美祿市にずっと住みたくなる「まちの基盤づくり」		4-1 トップクラスの安全・安心なまちづくり	4-1-1 防犯・防災対策の充実 4-1-2 医療と地域包括ケアの連携強化
	4-2 住み続けられるネットワークづくり	4-2-1 地域公共交通網の利便性の確保 4-2-2 公共施設の適正化と地域コミュニティの拠点づくり 4-2-3 高校・大学や企業等との連携と協働によるまちづくり	

## 3-2. 重要戦略

総合戦略の計画期間は5年間と短いため、人口減少対策に特に効果的な施策を実施することが重要であることから、総合戦略の大きな柱として、以下の4つの戦略を「重要戦略」として位置づけ、特に、重点的に実施します。

### 重要戦略 1

**Mine 秋吉台ジオパークを通して地域に対する誇りと郷土愛を育むとともに、プロモーションにより美祢市の知名度を高める。**

#### ■基本的考え方

日本最大級のカルスト台地である秋吉台と、その生態系の保全状況、並びに様々な団体等による活動が認められ、平成 27 年9月4日に美祢市全域をエリアとする「Mine 秋吉台ジオパーク」が日本ジオパークとして認定され、新たな可能性を秘めた扉が開きました。今後は、地域資源の保全を重視したうえで、ジオパーク活動に取り組むことが重要となります。

このため、ジオパーク活動を通して、地域に対する誇りと郷土愛を育むとともに、「Mine 秋吉台ジオパーク」を「地球公園」及び「美祢市を PR する最大のプロモーションツール」として捉え、知名度の向上と、交流人口の拡大等に重点を置いた取組を実施するとともに、「地球公園」に住むことの価値向上を図ります。

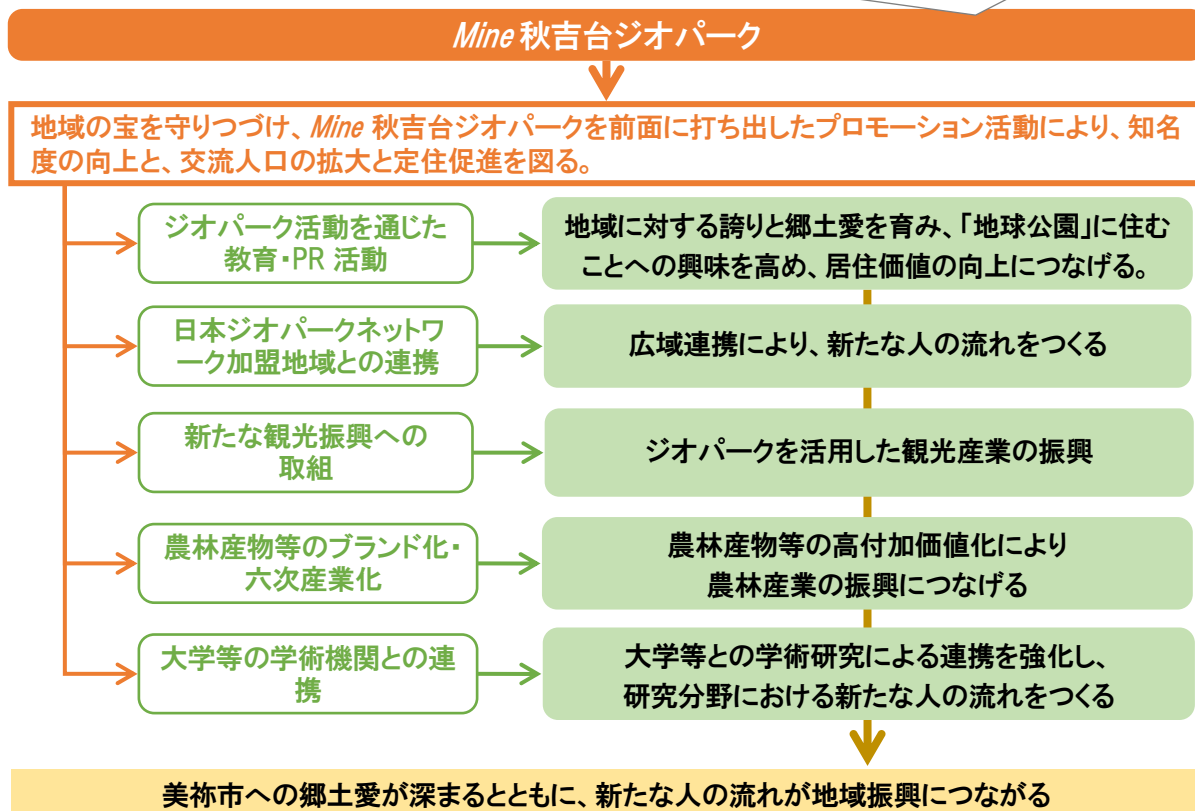
具体的には、地域の宝を守りつづけ、ジオパークを通じた教育・PR 活動、日本ジオパークネットワーク加盟地域との連携による交流人口の拡大、ジオツアーやジオメニューを活用した観光振興への取組、農林産物等のブランド化・六次産業化の推進、大学等の学術機関との連携による新たな人の流れを生み出します。これらを効果的に進めるためには、各分野で「Mine 秋吉台ジオパーク」を前面に打ち出すことが重要です。

※ジオメニュー：地域の特産品や、ジオの恵みを活用した料理やお菓子

#### [Mine 秋吉台ジオパークを活かした展開イメージ]

##### Mine 秋吉台ジオパークの基本理念

Mine 秋吉台ジオパークは、ジオパークの理念である「保全」・「教育」・「地域振興」に基づき、持続可能な地域社会の実現を目指し、住民、行政、そして研究者が地域のために何ができるかということをとともに考え続け、地域を経済的にも精神的にも幸福にする。



## ■具体的取組

- 地域の宝を後世に残すため、特別天然記念物「秋吉台」をはじめとする地域資源を保全します。
- ジオパーク活動の推進と美祢市の魅力を伝えるプロモーションを実施することにより、交流人口の拡大を図り、観光産業の振興とともに、「地球公園」に住むことの価値向上につなげます。
- *Mine* 秋吉台ジオパークを打ち出すことで、農林産物や地元産品、ミネコレクションの高付加価値化を図ります。
- 郷土を愛する心を育てるため、ジオパーク教育・PR 活動など(出前講座、ジオらく、ジオアニ等)ジオパークに楽しむ取組を継続します。
- 研究活動の活発化等により、新たな人の流れをつくります。

※ジオらく：ジオパークを題材とした落語により、ジオパークに興味関心を持ってもらう取組  
 ※ジオアニ：ジオパークを題材としたアニメーションによる情報発信

## ■特に関連する具体的施策

1-2-1	秋吉台を核とした感動できる観光地づくり	P15
1-2-2	グローバル観光戦略の推進	P15
1-2-3	観光産業の展開による地域経済の活性化	P16
1-3-1	地域ブランドの育成と六次産業化の推進	P17
2-1-1	地域 PR・プロモーションの推進	P18
2-1-2	国際交流の推進	P19
2-2-1	美祢ブランドの確立と活用	P20
3-3-1	郷土に誇りが持てる教育活動	P24
4-2-3	高校・大学や企業等との連携と協働によるまちづくり	P27

## ■スケジュール

年次	H27	H28	H29	H30	H31
目標	「地球公園」の周知と居住価値向上につなげるプロモーション戦略の検討	「地球公園」の周知と居住価値向上につなげるプロモーション活動の実施、定住促進			
	ジオパーク教育・普及活動、				
	ジオパークを活用した観光産業の振興				
	農林産物等のブランド化・六次産業化の推進に向けた、ジオパークの活用検討		農林産物の高付加価値化に向けた活動の展開(プロモーション活動、商品開発等)		
	研究活動の活発化				



## 重要戦略2 共生への意識醸成を進め、新たな雇用をつくる

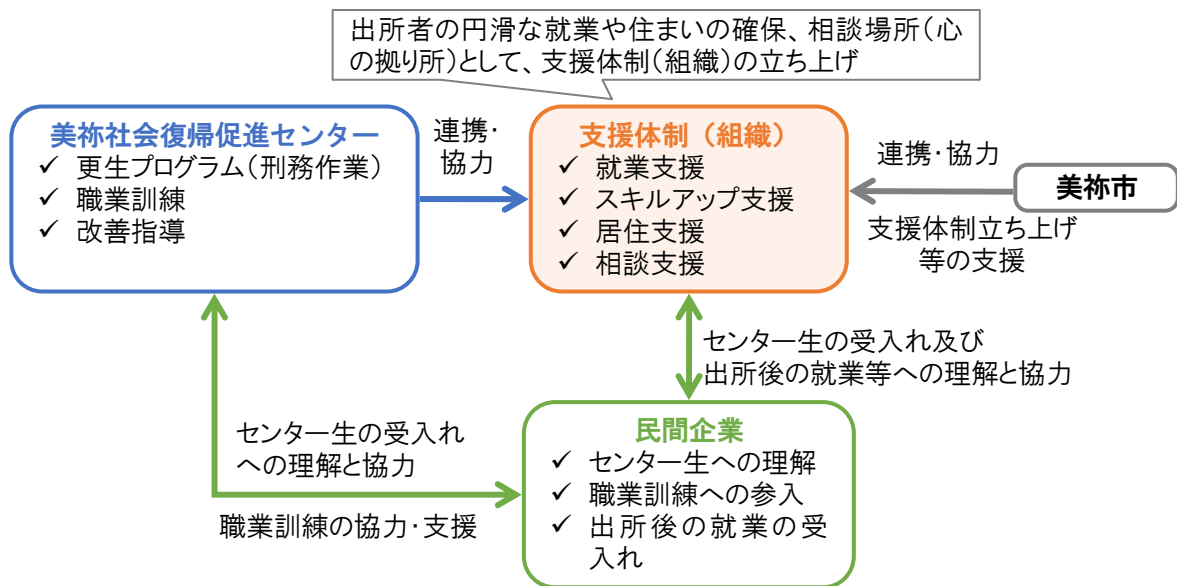
### ■基本的考え方

本市に立地している美祢社会復帰促進センター(定員 1,300 人)では、全国から、犯罪傾向が進んでおらず、初めて収容される者のうち、心身等に著しい障害がなく、集団生活に順応できると思われる者を収容対象者(以下「センター生」という)として受け入れがされています。さらに、男性については、社会において安定した就労状況が維持されていたこと、帰住環境が良好であることなどの、条件を満たした者と限定されています。

そうしたセンター生に対して、規律正しい生活の下、刑務作業、職業訓練、改善指導などの社会復帰に向けた更生プログラムを実施することにより、再犯を防止し、社会に迎えられる「人材の再生」を目指しています。

本市では、美祢社会復帰促進センターと協働しながら、センター生の社会復帰を支援し、将来活躍できる人材として育成することに力を入れます。さらに、市民や民間企業等に共生の考え方を広め、理解を深めるとともに、民間企業と協力しながら、出所者の住まいや身元引受を含めた就業をサポートし、生きがいの創出を図ります。

### [社会復帰への支援体制イメージ]



## ■具体的取組

- 本市での就業機会の創出に向け、美祢社会復帰促進センターでの技能取得(介護などの資格)における関係機関との連携強化を図ります。
- 本市で高齢化が進んでいる、農業・林業への就業の希望者には、農業・林業のノウハウや技術を修得できる教育や就労体験の機会創出への支援を行います(担い手の確保・育成)。
- 美祢社会復帰促進センターにおいて、刑務作業への民間企業の参入や出所後の雇用につながる民間企業との面談等を支援します。
- 出所者の社会復帰に向けた生きがいの創出のため、地域や民間企業に共生への理解を深め、住まいや身元引受を含めた就業の受け皿となる企業の育成・確保を図ります。
- 美祢社会復帰促進センター、企業、行政との間を取り持ち、センター生の社会復帰のサポートを行う「支援組織等(就業サポート、社会人としてのスキルアップ支援等を行う支援組織)」の検討を行います。これは、出所者にとって、心の拠り所であり、相談場所にもなるため、再犯防止にもつながることが期待できます。

## ■特に関連する具体的施策

1-1-1 共生への意識醸成	P13
1-1-3 地元企業の活性化・人材育成への支援	P14
1-3-2 農林業の担い手の育成	P17
2-2-2 移住推進体制の構築と定住支援	P20
2-3-1 美祢市への定住支援・移住環境の整備	P21
2-3-2 介護・医療従事者の確保	P21

## ■スケジュール

年次	H27	H28	H29	H30	H31
目標	職業訓練(資格取得、農林業技術の習得等)における連携強化				→
	美祢社会復帰促進センターへの民間企業の参入への意識づくり	美祢社会復帰促進センターへの民間企業の参入・就業支援企業の育成			→
	支援組織の役割、内容等の検討、先進事例の調査・視察	支援組織の立ち上げに向けた関連部署、関係団体、地元との調整・連携体制の構築	支援内容の試行 支援組織立ち上げに向けた調整等	→ →	支援組織の立ち上げ

↳ 市は、支援体制(組織)の立ち上げ等の支援を行う。

### 重要戦略3

## (仮称)美祢市観光まちづくり組織（DMO）の構築により、新たな人の流れをつくる基盤を整える

### ■基本的考え方

秋吉台や秋芳洞に代表される自然資源、鉱物資源に恵まれており、魅力的な観光資源を活用して、(一社)美祢市観光協会が中心となり、様々なイベントや観光振興を行っています。

また、本市は山口県西部の中心にあり、周辺自治体や山口宇部空港からのアクセスが良い立地条件を有しています。さらに、市ではトリプルエンジン(国際交流の推進、六次産業化の推進、ジオパーク活動の推進)を進めており、台北観光・交流事務所の設置や国際交流、ミネコレクションの認定、ジオパーク活動の強化といった、観光振興への取組に力を入れています。

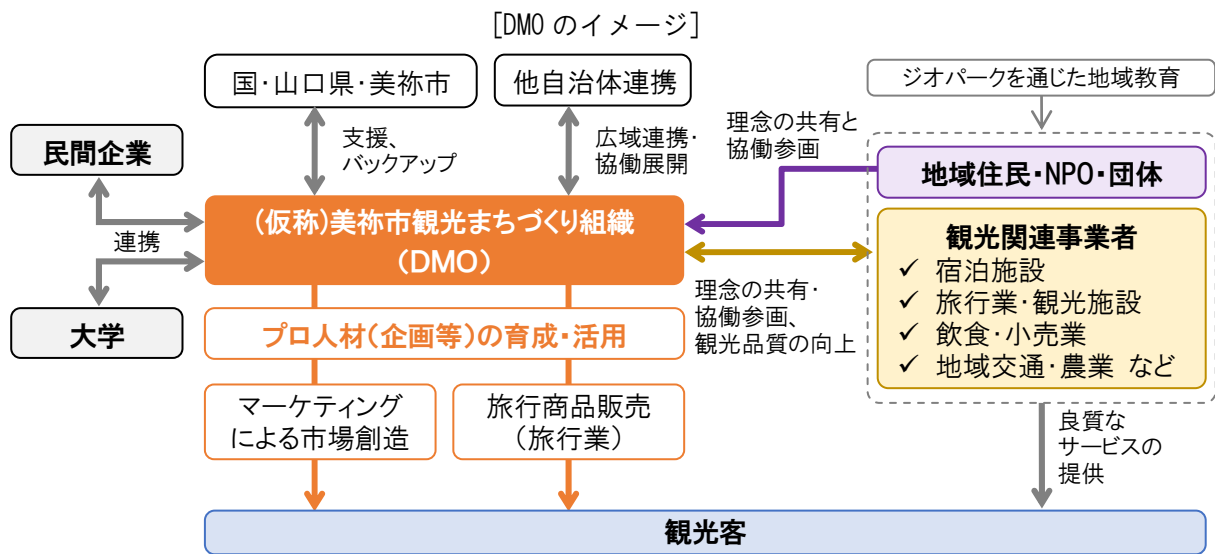
しかし、全体の観光客数、秋吉台・秋芳洞の観光客数は伸び悩んでおり、本市の認知度、情報接触度も低い状況にあります。

こうした課題に対応しつつ、本市の特長や取組をさらに発展させ、新たな人の流れをつくる基盤を整えるため、DMO 機能を持つ「(仮称)美祢市観光まちづくり組織」の設置を目指します。

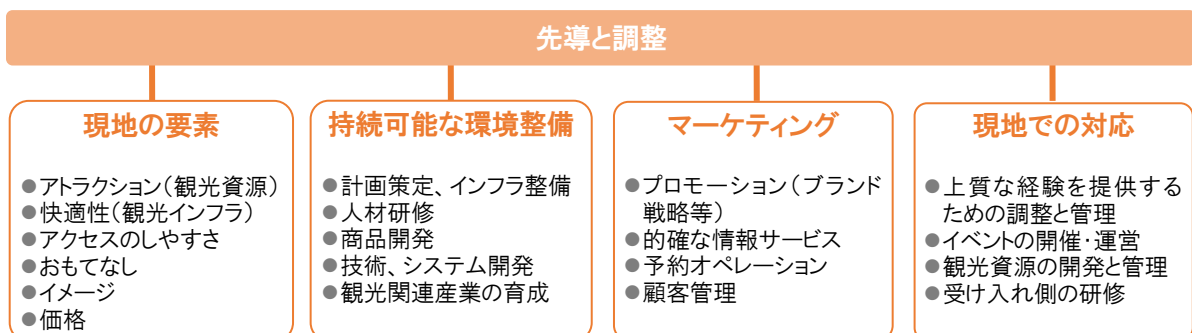
DMO では、観光地(地域・観光資源)のマーケティングとプロモーション(ブランド戦略等)を担い、観光集客をはじめ、資源やサービスの品質(安全)の管理、観光戦略の立案や事業計画のマネジメント機能を有する、自立的に運営される組織の構築を検討します。

これにより、観光立市としての観光振興が強化されることで、本市の魅力や認知度も高まり、交流人口の拡大、観光関連産業への経済波及効果が期待できます。

※DMO：地域全体の観光マネジメントとマーケティングを一体的に担う、司令塔となる組織を指す。



### [DMO の業務例]



## ■具体的取組

- (一社)美祢市観光協会や第3セクター等の既存組織、道の駅等の施設の活用も含めた、(仮称)美祢市観光まちづくり組織(DMO)の設置に向けた検討を進め、市内の観光連携体制の構築・強化と、雇用の創出を図ります。
- 観光資源やジオパーク資源を活かしたインバウンド観光を展開し、世界に向けて、本市固有の自然や地域の風土・文化、明治維新等の歴史などを発信し、DMOによる様々な観光収益事業を展開し誘客を図ります。
- インバウンド観光の活性化を図るため、山口県及び他市と連携し、山口宇部空港の東アジア直通便就航の実現化など、台北観光・交流事務所を活用した誘客・送客を図ります。

※インバウンド：一般的に訪日外国人旅行のこと

## ■特に関連する具体的施策

1-2-1	秋吉台を核とした感動できる観光地づくり	P15
1-2-2	グローバル観光戦略の推進	P15
1-2-3	観光産業の展開による地域経済の活性化	P16
1-3-1	地域ブランドの育成と六次産業化の推進	P17
2-1-1	地域PR・プロモーションの推進	P18
2-1-2	国際交流の推進	P19
2-2-1	美祢ブランドの確立と活用	P20
3-3-1	郷土に誇りが持てる教育活動	P24
4-2-2	地域公共交通網の利便性の確保	P26
4-2-3	高校・大学や企業等との連携と協働によるまちづくり	P27

## ■スケジュール

年次	H27	H28	H29	H30	H31
目標	市内の観光連携体制を構築・強化	→			
	(仮称)美祢市観光まちづくり組織(DMO)立ち上げに向けた検討	→	収益事業の展開	山口県及び他市との連携による東アジア等インバウンド観光の展開	産業の活性化、雇用創出

→市は、立ち上げ等の支援を行う。

高齢者が多世代と交流しながら、健康でアクティブな生活を送り、必要な医療・介護を受けることができる移住環境を整える（生涯活躍のまち構想）

■基本的考え方

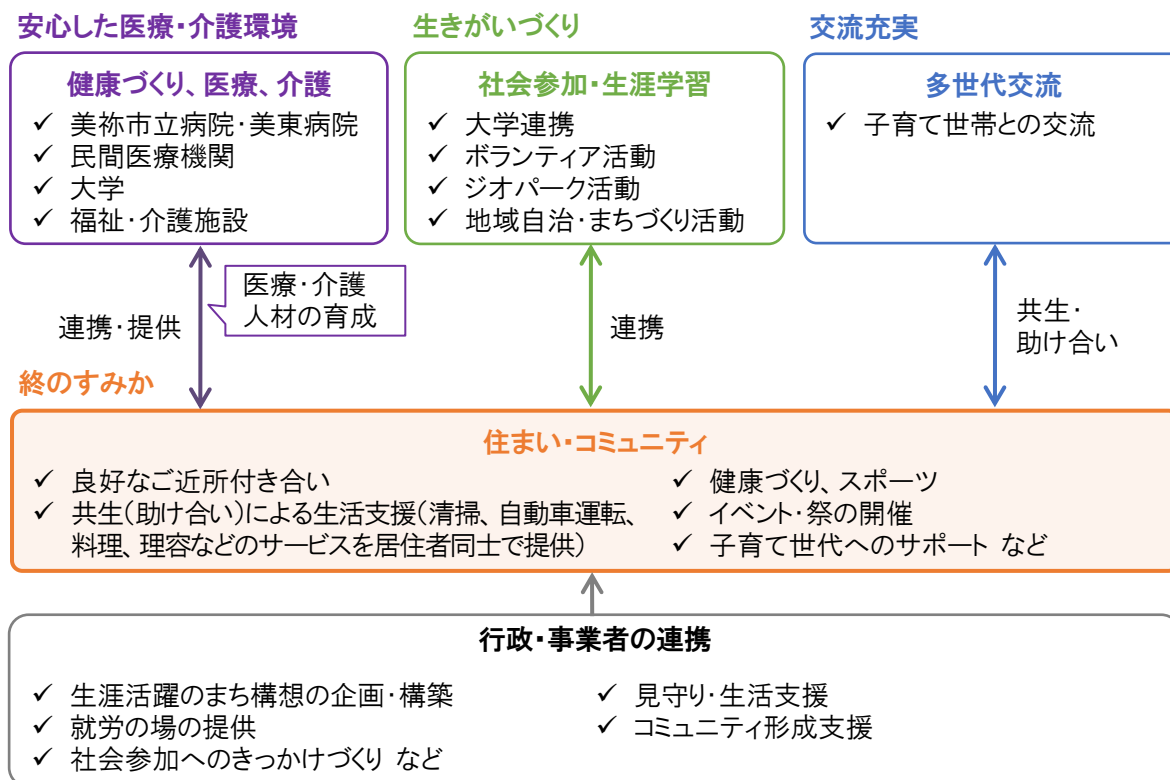
高齢者は全国で増加し、特に、東京、神奈川、千葉、埼玉の1都3県では、今後10年間で75歳以上の方が175万人増えることが推計されています。この結果、医療や介護に対応できなくなり、高齢者が病院や介護施設を奪い合うような深刻な事態が生じかねないとの日本創成会議の予測があります。

こうしたなか、地方へ移住する条件として、「教育、医療・福祉などの利便が高いこと（内閣府調べ）」とする回答が最も多く、条件を整えば、地方への移住を考えている人も存在しています。

このように、医療・介護需要が増えてくることを踏まえ、2つの市立病院を保有する本市では、これを人口減少対策の機会ととらえ、高齢者が、多世代と交流しながら健康でアクティブな生活を送り、必要な医療・介護を受けることができる移住環境づくりを行い、都市部からの高齢者等の受け入れを検討します。将来的には、呼び込んだ高齢者の子や孫の世代の定住に結び付けていくことも期待できます。

さらに、高齢者だけでなく、若者や子育て世代も引き込む住宅・住環境を検討し、高齢者にも若者にも住みやすい環境を整えることで、多世代の交流（コミュニティ）が生まれる場の創出も図ります。これにより、高齢者の生きがいづくりや子育て世代の負担軽減などにつながることを期待できます。

[美祢市での生涯活躍のまち構想のイメージ]



[従来の高齢者住宅と生涯活躍のまち構想との比較]

	従来型の高齢者住宅	生涯活躍のまち構想
入居時の健康状態	具合が悪くなってから	健康なうちに
入居動機	不安だから	楽しみたいから、役立ちたいから
事業収益視点	公的保険に依存	公的保険に依存しない
地域接点	地域との接点なし	地域に開かれたコミュニティ
世代視点	高齢者だけのコミュニティ	多世代共創型コミュニティ
建物	新規に建築	可能な限りストックを活用
居住者の位置づけ	支えられる人	担い手、共助する人
居住者の自治組織	なし	あり
関連雇用	公的保険サービス中心	公的保険外サービス中心

出典：サステイナブル・ブラチナ・コミュニティ政策提言(サステイナブル・ブラチナ・コミュニティ政策研究会；三菱総合研究所 日米不動産協力機構)

[生涯活躍のまち構想がもたらす多面的なメリット]

分野	生涯活躍のまち構想によるメリット
経済面	雇用創出、消費の拡大、税収の増加
健康面	健康寿命延伸、将来の医療・介護費抑制
社会活動面	社会参加向上、多世代共生
街づくり面	ストック活用の街づくり、コンパクトシティの促進
エネルギー面	省エネルギー化によるエネルギーコスト低減

出典：サステイナブル・ブラチナ・コミュニティ政策提言(サステイナブル・ブラチナ・コミュニティ政策研究会；三菱総合研究所 日米不動産協力機構)

■具体的取組

- 医療・介護スタッフの人材確保・育成に向けた活動を支援します。
- 生涯活躍のまち構想の実現に向けた具体的な事業計画を作成します。
- 豊かな自然環境や豊富な農産物、広域交通(高速道路、山口宇部空港)の充実、都会よりも安価で質の高い住まいの提供、災害発生リスクの低い地域等をPRするプロモーション活動を行います。

■特に関連する具体的施策

2-1-1	地域PR・プロモーションの推進	P18
2-2-1	美祢ブランドの確立と活用	P20
2-2-2	移住推進体制の構築と定住支援	P20
2-3-1	美祢市への定住支援・移住環境の整備	P21
2-3-2	介護・医療従事者の確保	P21
3-2-1	子育て世代の負担軽減	P23
3-2-2	子育てが楽しい環境づくり	P23
3-3-1	郷土に誇りが持てる教育活動	P24
4-1-1	防犯・防災対策の充実	P25
4-1-2	医療と地域包括ケアの連携強化	P25
4-2-2	公共施設の適正化と地域コミュニティの拠点づくり	P26
4-2-3	高校・大学や企業等との連携と協働によるまちづくり	P27

■スケジュール

年次	H27	H28	H29	H30	H31
目標	医療・介護スタッフの確保・育成				→
	生涯活躍のまち構想づくり	生涯活躍のまち計画の検討	生涯活躍のまち連携体制づくり	生涯活躍のまち事業の実施	生涯活躍のまちの検証と実施

### 3-3. 具体的施策

## 基本目標1:美祢市の資源を活用した「雇用をつくる」

### 展開すべき施策1-1 : 共生がつなぐ仕事づくり

市民や企業の営みから、仕事生まれ、人が育ち、まちがつくられており、市民・企業の力は、本市の発展に欠かせない要素となっています。今後、より魅力的な市となるためには、市民や企業が一丸となって「共に生きる」という考え方を広め、共に本市を育てていこうとする動きが大切となります。

就業者数の減少が見られるなか、共生の考え方のもと、美祢市に立地している美祢社会復帰促進センターのセンター生の活用や総合支援学校生の雇用創出を図ります。

さらに、新たな雇用の創出につながる企業の誘致や市内企業・店舗の活性化、働きたい若者を呼び込むための市内企業のPR等を進め、仕事づくりにつながる支援を行います。

具体的施策	1-1-1 共生への意識醸成				
内容	美祢社会復帰促進センターのセンター生の社会復帰への支援及び総合支援学校生の就労支援などを行い、地域・企業で受け入れにつながる意識づくりを行います。				
重要業績評価指標 (KPI)	名称	現状値		目標値 (H31)	
	美祢社会復帰促進センターでの作業・職業訓練に関わる市内企業の数	8 企業 (H26)		10 企業	
具体的な取組	スケジュール				
	H27	H28	H29	H30	H31
刑務作業等への市内企業の参入支援		市内企業への協力要請と参入支援			→
センター生の就労体験の機会の提供と労働力の活用		市内企業への協力要請及び協力企業の創出			→
センター生の社会復帰に向けた支援環境づくり		関係機関、団体、地元と連携した支援体制の構築			→
総合支援学校生の就労支援体制づくり		市内企業への就労支援の実施			→

具体的施策	1-1-2 起業・事業所誘致の推進				
内容	新たな雇用を生み出す企業の誘致の促進や起業への支援を行うとともに、商店街の魅力・活力向上、産業の維持を図る活性化支援を行います。				
重要業績評価指標 (KPI)	名称	現状値		目標値 (H31)	
	誘致・進出企業数	2 社 (H25)		2 社 (5 年間累計)	
具体的な取組	スケジュール				
	H27	H28	H29	H30	H31
空き店舗の活用、家賃・店舗改修の助成		空き店舗の有効活用に向けた支援の実施			→
企業の誘致活動・訪問活動の実施		プロモーション・訪問活動の実施			→
中小企業制度融資等による資金支援の充実	資金調達への支援	円滑な資金調達への支援・利便性の向上			→

具体的施策	1-1-3 地元企業の活性化・人材育成への支援				
内容	高校生・大学生・求職者に地元企業の魅力を伝え、就職と定住を促す雇用安定化への支援を行います。また、地元企業のさらなる発展をサポートする人材育成の支援を行います。				
重要業績評価指標 (KPI)	名称	現状値	目標値 (H31)		
	市内企業の合同会社説明会の開催回数	—	4回(累計)		
	市内の高校の卒業生の美祢市への就職率	23.0%	30%		
具体的な取組	スケジュール				
	H27	H28	H29	H30	H31
市内事業所の雇用の安定化確保 (求職者向け相談窓口、人材育成等)					
市内企業の合同就職説明会の開催支援					
市内企業への就業体験 (インターンシップ) の支援					
事業後継者育成 (事業継承・起業等) に対する支援					
商店街活力アップへの支援					